

はなまきじょうあと はくつちょうさ やねがわら しゅつど かわら
花巻城跡の発掘調査では屋根瓦が多く出土しています。この瓦は
いぶしがわら よ ぎんいろ はいいろ いろあ も
「燻瓦」と呼ばれる銀色から灰色の色合いを持つ瓦です。瓦を作る
さいしゅうこうてい いぶ いろづ ゆらい
最終工程で燻するため色付き、名前もここに由来しています。

ごてん た ほんまる まるがわら ひらがわら のきまるがわら ぎょうせいし
燻瓦は、御殿が建っていた本丸から丸瓦・平瓦・軒丸瓦、行政施
せつとう にのまる
設等が集中していた二之丸からは丸瓦・平瓦が見つかります。
ぶげやしき なら さんのまる さんがわら
武家屋敷が並んでいた三之丸では、丸瓦・平瓦・軒丸瓦・棧瓦が見
つかっています。

ほんい しゅつどりょう
本丸から三之丸までの範囲で、燻瓦が見つかりますが出土量
は、あまり多くありません。そのため、ある限られた建物か、ある
いちぶぶん ふ かのうせい
いは建物の一部分のみに葺かれていた可能性が考えられます。

ないうかくにんちょうさ はへん
本丸で行われた内容確認調査で、丸瓦と平瓦の破片が出土しまし
た。丸瓦と平瓦を交互に組み合わせて葺く方法を「本瓦葺」といい、
こうご く あ ほんがわらぶき
城や寺社の屋根に見られます。このことから、本丸あるいは周辺施
しゅうへんし
設に本瓦葺の建物が在ったと考えられます。しかし、瓦の出土量が
せつ
少ないため、ほんまるごてん
本丸御殿が本瓦葺であったかは今も分かっていません。

